

令和3年度 京都市立京都堀川音楽高等学校 学校経営方針

1. 教育目標

人間尊重の精神を基盤に、心豊かで自立した人間を育てるとともに、将来幅広く音楽専門家として活躍し、文化の発展に貢献できる人を育成する。

教育目標の達成のために、次の3つの力をバランスよく育成する。

- 音楽力 音楽の世界で飛躍するために必要な感性と実技力、ソルフェージュの力、音楽史や音楽理論などの専門的な知識
- 学力 進路実現に向けた確かな学力、社会で生きていくための基礎知識と、自ら考え行動できる力
- 人間力 自立した人間として、音楽を通して何ができるかを考えることができる力、人の痛みがわかり、地球の裏側まで慮ることができる思いやりの心

2. 学校経営の基本方針

①音楽力のさらなる進化を求める。

- ・将来音楽専門家として活躍するために必要な基礎力をすべての生徒が培い、その上に自らの専門性を高め、日本の、世界の音楽シーンをリードする音楽家を目指す。
- ・音楽におけるキャリア教育を意識し、生徒自身が自らの目標達成に向けて自発的に音楽に取り組み、自らを進化させていく力を育てる。

②社会で活躍していくための学力を求める。

- ・生徒が自らを社会の中で生かし、日本をはじめ広く世界で社会に貢献することができる学力を得る。
- ・生徒の主体的な学習を柱とした授業とすることで、必要とする力を生徒自らが獲得していくように努める。
- ・授業の目的を明確にし、学びの基礎診断、学校（授業）評価等を用いて、常に授業改善に努め、授業の質を高める。

③心豊かな音楽人を育成する。

- ・音楽が持つ力を常に意識し、自らが豊かな感性・情操を培うとともに、それが他者や社会に与える力を知るとともに、よりよい社会の実現に寄与できるようにする。
- ・文化における京都の特性を十分に理解し、伝統の上に立ちながら、自らが独自の音楽を創造していく気概を持つように努める。